

大阪府立大学 ホームカミングデー2017

2017年11月5日(日)白鷺祭最終日
中百舌鳥キャンパス



■ ウェルカムパーティー

- ・ 時間 : 12時～14時 (受付開始 11時30分)
- ・ 会場 : B12棟 学生会館1階 生協食堂
- ・ 形式 : 立食形式の昼食会
- ・ 会費 : 3,000円 (コンビニなどからの事前振込)
- ・ 主な内容:

校友会 東野会長、府大 辻学長の挨拶
応援団による演舞
混声合唱団エヴァコールによる学生歌合唱など
「鷗朋会」のテーブルも設けております。



昨年のウェルカムパーティーの様子

■ 参加申込み方法

右の校友会サイトの「ホームカミングデー2017 参加申込みページ」から、お申込み下さい。
会費振込用紙を送付させていただきます。
<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp/>



校友会サイト

卒業生、保護者、白鷺祭来場者を対象とした以下の講演なども実施しますので、是非ともご参加下さい。
また、10時～11時の時間帯は会場入り口付近にて、ウェルカムパーティーの受付も行っておりますので、講演終了後はスムーズにパーティー会場に移動していただけます。

- ・ 内容 : 「府大の沿革」、「今・これから」、「新法人設立に向けて」を、高等教育推進機構 山東 功 教授 (大学史編纂研究所 所長)、辻 理事長・学長、新法人設立準備室より説明
- ・ 時間 : 10時30分～11時30分 (各講演20分程度、出入り自由)
- ・ 会場 : B3棟 2階 203教室

ウェルカムパーティー終了後、
海洋システム工学分野の施設見学会も
予定しています！

詳細は、鷗朋会 HP または、鷗朋会事務局
まで直接お問い合わせ下さい。

TEL:072-254-7461

mail:doso@marine.osakafu-u.ac.jp



博士論文 (博士後期課程)

Nguyen Tu Anh	(大塚)	Sustainability Assessment of Inedible Vegetable Oil-based Biodiesel for Cruise Ship Operation in Ha Long Bay, Vietnam
---------------	------	---

修士論文 (博士前期課程)

天野 遼介	(片山)	向波中を航走する滑走艇の上下加速度低減に関する研究
荒木 大翔	(有馬)	生理指標に基づく緊張ストレス状態の推定モデルの構築
石田 将之	(馬場)	経路幅の変化が重力流に及ぼす影響
岩田 昂士	(柴原・生島)	溶接残留応力を考慮した簡易疲労寿命予測手法を用いた溶接継手の疲労強度に関する検討
貝ヶ石 康平	(柴原・生島)	板間接触を考慮した溶接変形解析の高精度化に関する研究
門田 一輝	(深沢)	配管エルボの圧力損失に対する内部形状の影響について
北村 徳識	(柴原・生島)	ピーニング処理された円管溶接継手の運用荷重下における残留応力評価に関する研究
小北 誠時	(馬場)	2層間に貫入する重力流の挙動に周囲流体が及ぼす影響
YUQIONG QIN	(中谷)	Study on the formulation of fish population dynamics model using statistical data
洲河 杏平	(坪郷)	船舶に働く摩擦抵抗の大幅削減を目指した船底空気循環槽の超幅広・浅喫水船への適用
高橋 美苗	(中谷)	沿岸域における油流出によるヒト健康リスクの評価手法の構築
竹田 陽亮	(山崎・中谷)	水中サイクロンによる海底一次選別手法に関する研究
中田 将吾	(新井)	超音波流速計を用いた実海域における複数種類の懸濁物質の計測手法
原田 貴明	(柴原・生島)	ソリッド要素を用いた大変形熱弾塑性解析手法の開発および船体防撓構造の座屈現象解析への適用
平沼 真衣	(深沢)	極限海象におけるコンテナ船の縦曲げ強度に関する研究
福永 卓真	(深沢)	FBG 圧力センサの動的応答特性に関する研究
藤村 遼平	(片山)	リングフィン型姿勢安定装置付きスパーブイの最適設計手法の開発
松田 有祐	(二瓶)	一点係留法を用いた浮体式洋上風車の研究
水上 裕貴	(二瓶)	TLP 型浮体式洋上風車における不安定動揺に関する研究
宮本 雅之	(馬場)	密度成層内における縦渦が混合に及ぼす影響
矢野 貴大	(柴原・生島)	溶接継手の強度評価に向けた延性-脆性混合破壊解析に関する検討
渡邊 一光	(坪郷)	超大型コンテナ船の実海域抵抗増加低減に関する研究

卒業論文

青木 雅明	(二瓶)	砂質土地盤の海域における浮体式風車に用いるサクショ・アンカーの研究開発
家下 輝也	(柴原・生島)	FSW(摩擦攪拌接合)に関する力学シミュレーション手法の構築
白杵 龍太	(深沢)	配管エルボの振動特性に対する溶接継手の影響について
戎野 共紀	(新井)	高周波計測による海水中炭酸水素濃度の計測手法に関する基礎的検討
奥原 孝平	(山崎)	海底熱水鉱床開発における機械式揚鉱システム適用の検討
梶本 博	(有馬)	海洋・宇宙連携による鯨類の生態系モニタリング手法の検討
川瀬 充弘	(柴原・生島)	三次元連成シミュレーションを用いたプロジェクション溶接の接合機構に関する検討
北岡 遼一	(中谷)	最適変換法を用いた硫酸化細菌の環境因子に対する応答の抽出に関する研究
草薙 一真	(二瓶)	多層ボックスモデルによる汽水域の塩分計算手法の研究開発
白井 孝明	(新井)	実海域における船尾伴流の可視化計測に関する基礎的検討
杉原 悠介	(深沢)	バラ積み貨物船3ホールドモデルの応力解析における境界条件に関する研究
杉本 健	(山崎・中谷)	ハイドロサイクロン内粒子流動の画像解析
立花 雅樹	(深沢)	コンテナ船の疲労被害度に対するウェザールーティングの影響について
谷口 知	(片山)	横揺れ・左右揺れる船体に働く横揺れ減衰力と船体周りの流れに関する実験的研究
東 賢治	(二瓶)	FGVを有するクロスフロー型風車を搭載した洋上風車の研究開発
藤原 浩晃	(坪郷)	超小型模型船を用いた抵抗試験法の実験的考察
本藤 裕佑	(坪郷)	船体構造解析に用いることを想定したフレーム要素に関する研究
松尾 俊輔	(山崎)	水平噴流による採掘鉱石の海底一次選別手法の検討
松岡 雅紀	(片山)	幅広浅喫水船の横揺れ減衰力に関する研究
山田 祐介	(柴原・生島)	レーザ溶接時の凝固割れに関する力学的検討
津川 浩哉	(馬場)	軸対称重力流における非定常密度場の画像解析法の確立
遠藤 昂彦	(馬場)	深さと経路幅のアスペクト比が重力流に与える影響
與座 寛晃	(中谷)	MCMC法を用いた決定論的数理モデルのパラメータ推定に関する基礎的研究

各賞受賞者

YUQIONG QIN	海洋システム工学分野 最優秀論文賞	日本船舶海洋工学会奨学褒賞
水上 裕貴	海洋システム工学分野 優秀論文賞	
山田 祐介	海洋システム工学課程 最優秀論文賞	日本船舶海洋工学会奨学褒賞
津川 浩哉	海洋システム工学課程 優秀論文賞	
家下 輝也	白鷺賞	

教授昇任にあたってのご挨拶

海洋システム工学分野 教授
中谷 直樹 (大学 45 期)

本年度 4 月 1 日より、航空宇宙海洋系海洋システム工学分野の准教授から教授に昇任いたしました。本教室の助手として教員に着任したのが、平成 12 年度春であったので、もう早いもので 17 年もの年月が経っていたことに驚きつつ、このような重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。同窓生の皆様をはじめ、一人ひとりのお名前を挙げることのできないほど、多くの方々に支えられての就任であり、皆様には本当に心より感謝申し上げます。

現在、海洋システム工学分野・課程は 10 名の教員で構成されており、工学研究科の中では、一番所帯の小さい組織となっています。少人数の体制の中でも、教育の質を維持し高めていくことが急務となっており、これまでの教育体制を継承しつつ、時代に合わせて改革をしていく必要があります。また、数年後に迫っている大阪市立大学との統合の中で、大学全体の組織改編が行われることが予想されており、その荒波の中でも、伝統あるこの組織を守り・育てていくことが、私の責務であると感じております。

研究の方では、これまで行ってきた海洋環境保全・利用技術の発展はもちろんのことながら、深沢先生がこの 3 月に早期に退任なされたのを受けて、新たな「海洋空間利用」の学問分野の構築を目指し、海洋資源・エネルギー開発、水産利用、沿岸域管理等など幅広い領域をカバーし、次世代の新たな海洋産業の創造と発展を支えていきたいと考えております。

できる限りの努力をしていく所存ですので、同窓生の皆様からのご協力並びに叱咤、激励のほど、よろしくごお願い申し上げます。



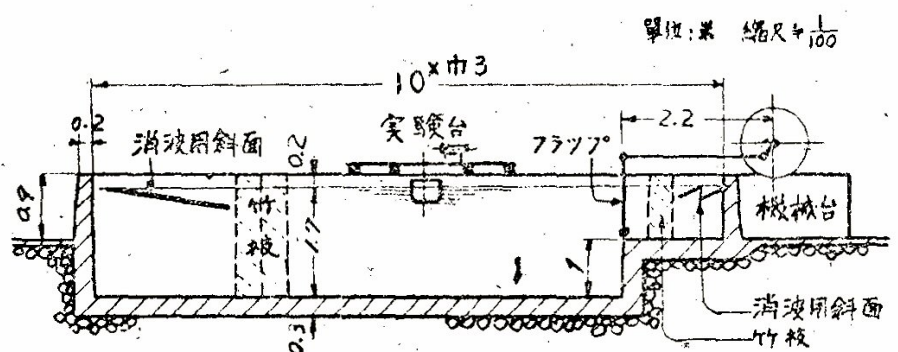
船舶動揺水槽（初代）創立 70 周年

大阪工業専門学校時代の昭和 22 年（1947 年）11 月に、当時関西唯一となる船舶動揺水槽が本校で完成しました。この水槽は、その後の大学移管後設備更新のため撤去されたものの、本年でその記念すべき創立から 70 周年を迎えることとなります。また、現在稼働中の船舶試験水槽も、今の形となった昭和 32 年より数えて 60 年となり、還暦を迎えました。

これを機に、当時の情報を集めて、大阪府立大学における水槽の歴史をまとめておきたいと考えております。皆様におかれましては、水槽創立当時の記録並びに思い出話等々を、同窓会事務局にお寄せいただければ幸いです。ご協力のほどよろしくごお願い申し上げます。

また、11 月 5 日のホームカミングデーでは、現在の船舶試験水槽をはじめ、実験施設見学会を行いますので、是非お越しください。

中谷直樹(大学 45 期)



船舶動揺水槽（初代）概要図

菱田敏男：大阪工業専門学校の新動揺試験水槽に就て（『造船協会雑纂』第 276 号，1949 年 3 月）より抜粋

2016年度 会計報告書			
収入の部		支出の部	
前期繰越	362,551	振込手数料	42,300
		通信費	389,478
同窓会会費	1,242,000	役務費	627,200
理事会会費	16,000	事務費	120,644
雑収入(利息)	21	印刷費	182,369
HP拡充費	30,000	会議費	57,754
活動援助金 (工学部同窓会より)	100,000	雑費	0
同窓会活動支援金 (大学校友会より)	167,000	HPアルバイト	30,000
		慶弔費	16,416
小計	1,555,021	小計	1,466,161
		次期繰越	451,411
合計	1,917,572	総計	1,917,572

会計監査

大阪府立大学工学部 鷗朋会殿

監事 杉山和雄

吉久英昭

2016年度の同窓会会計につきまして、監査の結果、適正に管理運営されていることを確認いたしましたのでご報告いたします。

今回は会計報告のみですが、正式には、議事録とともに「鷗朋26号」で掲載いたします。

事務局より



会費納入のお願い

鷗朋会は、会員の年会費(2,000円)によって運営されております。2017年度分の同窓会費をまだ納入いただいていない方には、請求書と振込用紙を同封しておりますので、同封の振込用紙をご利用いただくか、りそな銀行、郵便振替口座にご送金下さい。会員皆様のご協力をお願いいたします。

原稿の募集

「テーマ」は、自由です。近況報告、同期会開催顛末、技術的なレポートなど。分量は柔軟に対応いたします。

表紙絵、イラストの募集

表紙絵、誌面のスペースに使用するイラストを募集いたします。

ホームカミングデー(11/5)における施設見学会のご案内

校友会主催のウェルカムパーティー終了後、海洋システム工学分野の施設見学会(無料)を開催いたします。詳細は、鷗朋会HPをご覧ください。直接「鷗朋会」事務局 TEL:072-254-7461 mail:doso@marine.osakafu-u.ac.jp までお問い合わせ下さい。

会報等の発行状況と印刷費用の現状

年間の会報発行スケジュールは、鷗朋2回・ニューズレター1回を基本としています。今年度は、平成29年5月に鷗朋25号を発行し、次いで本ニューズレター11号を発行致しました。次は、平成30年3月に鷗朋26号の発行を予定しております。

鷗朋24号までは以前から印刷依頼をしている印刷屋さんをお願いしていましたが、印刷費用の削減を目的として鷗朋25号はネット印刷に切り替えました。なお、ニューズレターについては第8号からネット印刷に切り替え済みです。「鷗朋」を切り替えるにあたっては、費用削減効果以外の以下の点について留意して判断しました。

①印刷の質は、従来と同等以上であること。

②万事、丁寧に柔軟に対応いただけること。

①については実際には印刷が仕上がらないとわかりませんが、ニューズレターの出来から推し量ると印刷の質は落ちないであろうと判断し、また②についてはニューズレターの印刷を依頼した時の対応で判断しました。

以下、参考として「鷗朋」のネット印刷代金の従来印刷との実算での比較を示します。

ー従来印刷依頼：鷗朋24号印刷費(表裏表紙とも16ページ1,500部) 149,040円

ーネット印刷依頼：20ページ1,500部 74,300円+432円(振込手数料) 74,732円

なお、今回は「鷗朋」としては初めてのネット印刷でしたので、出来上がり見本を送付してもらおうオプションを付けたため簡易校正のための費用(510円+@370(1ページ)=7,910円)が高くなっています。よって、次回以降は「総数16ページ、簡易校正なし」にした場合、印刷費用は60,000円程度に抑えられる見込みです。

編集委員長 三宅成司郎(大学30期)



鷗朋会(けきほうかい)

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学大学院工学研究科 海洋システム工学分野気付

http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/~alumni/

E-mail: doso@marine.osakafu-u.ac.jp

TEL/FAX: 072-254-7461

■ 鷗朋会ニューズレター 第11号

発行日/2017年10月1日